

森のおくりもの 9月



クズ (マメ科)



秋の七草と言えば、万葉集で詠まれている七種（萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花）ですが、これとは別に新・秋の七草というものもあるそうです。昭和10年、毎日新聞社の前身である東京日々新聞社が当時の著名人七人から一つずつを挙げてもらって選んだものです。

それは、「葉鶏頭 コスモス 彼岸花 赤まんま 菊 おしろい花 秋海棠」だそうです。それぞれの選者は長谷川時雨、菊池寛、齊藤茂吉、高浜虚子、牧野富太郎、与謝野晶子、永井荷風といった錚々たる顔ぶれです。

いずれの七草も私たちにとってなじみのある植物が選ばれており、日常でも目にする機会が多い花々ではないでしょうか。【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『雨夜の月（あまよのつき）』

梅雨明けは遅れましたが、明けた途端にジリジリと肌を焦がす強い陽射しとムシムシとまとわりつく空気の猛暑が続いたこの夏。しかし、お盆を過ぎれば夜には涼しい風が吹くようになり、東北の夏の短さを実感しました。

そんな秋の気配を感じ始めた8月17日に行われたイベント『わくわく夜の森探検』では、暗闇の中でクロマドボタルというホタルの幼虫が放つ光を観察したことが印象に残っています。懐中電灯を消して暗さに目が慣れないと見えない淡い光ですが、見えて来ればあちらこちらに浮かび上がります。すぐ近くで光っていても灯りを点けているとその光には気づきません。でも、存在を知れば見なくとも「森では今日もたくさん光っているのかな？」と想像できます。

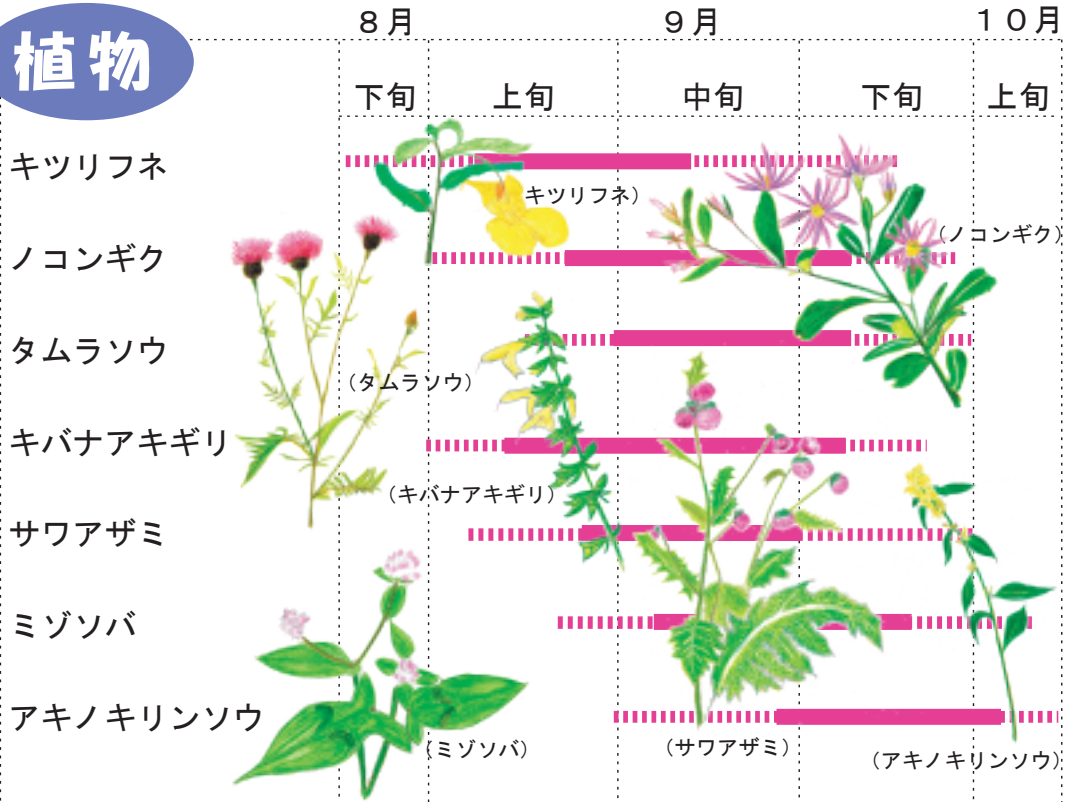
「雨夜の月」という言葉があります。空には月があることがわかっているが、雨の降る夜の空は雲で覆われて月が見えないことから「現実には存在するが、それを実際に目で見ることはできないことを例え、なかなか手にすることができないものを表す」ことわざです。勅撰和歌集の中の詞花和歌集に収められている「影見えぬ君は雨夜の月なれや 出でても人に知られざりけり」という歌に使われています。会うことができない想い人を雨夜の月に例えて、切ない気持ちを自然の光景で美しく表現しています。

『星の王子さま』の一節に「大切なものは目に見えない」という言葉があります。目に見えるものだけが全てではなく、目に見えないことがたくさんあります。何かと忙しなくて現実的なことに押し潰されるこの世の中。想像する力や機会を失くしてしまいがちですが、自然の中の見えないことを想像して楽しむ感受性とゆとりを持ち続けたいですね。 【レンジャー：新田隆一】



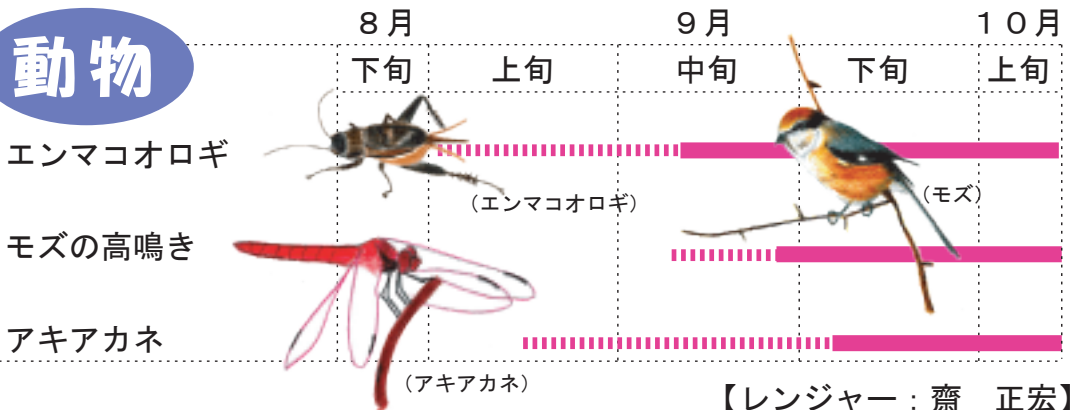
9月の生物ごよみ

植物



自然観察の森ではスズムシを飼育しているのですが、今年は例年よりも鳴き始める時期が遅く、初鳴きをしたのが8月21日でした。これは私が数年前に山形県で採取した野生のもので、それを毎年ふ化させて今に至っています。残念ながら観察センター周辺では野生のスズムシは生息しておらず、森の中で鳴き声を聞くことはできません。ちなみにスズムシは仙台市の『市の虫』にも指定されています。センターのホールに大反響するスズムシの鳴き声を是非聞きに来てください。9月後半まではその音色を楽しめます。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森の「おとしもの」



その15 『君の名は。』

「この花の名前はなに？」
「どうしてそんな名前なの？」

よくこんな問いかけをしたりガイドで解説をしたりします。

もちろん名前を知らなくても、その美しさを感じたり不思議さを楽しんだりできますね。でも名前がわかればいろんな人と情報交換したり図鑑やインターネットなどで、それこそ一生かかっても得られない貴重な体験に触れたりできます。「名前って相手をより深く知るためのパスポート！」私はそう思います。

先日、雨に濡れた市道に白いサクランボみみたいな、かわいい実が落ちていました（写真①）。君の名は？と聞いてみると（実際は図鑑で確認すると）エゴノキの実です（写真②）。どうして君はエゴノキって呼ばれているの？と聞いてみると「果皮がえご（えぐ）い事からつけられた」とのこと。へえ～、どのくらいえぐいのか試してみようと果皮（種のまわりの青い部分）をかじってみたところ最初は「ん、少し渋いな」で済むと思ったら30秒後「うええええええ」。コナラとも山菜とも違う渋さといがらっぽさでその後口の中が一時間ほど憂鬱でした。よい子は決してマネしないように。

このえぐみの元はサポニンという成分で昔はこれで魚をしびれさせ漁をしたり泡立つので石鹼替りに使ったとか。この実にだけ見られるゾウムシや虫こぶもいます（写真③）。中の種はヤマガラという小鳥の大好物です。おいしいのかな？ちょっと試してみようかな～。
良い子はくれぐれもマネしないように。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①



写真②



写真③ よく見ると穴が！

エゴヒゲナガゾウムシの産卵跡でした。

館長の猫背の太白 sanpo

はるか昔の話になりますが、私はかつて造園の仕事に就いており、樹木の剪定やら庭造りなどに携わっていた時期があります。それもあって、私は樹木の姿かたちには特に興味を持って見えています。ここ観察の森の中の樹木だけではなく、近所の街路樹や公園、民家のお庭に植栽されている木々を眺めながら歩くことは私にとって非常に楽しい時間です。

樹形というのは、その樹木が育ってきた環境であるとか、どのように人の手が加えられてきたのか、といったように、まさにその木が歩んできた歴史の一端を表しています。自然の中でのびのびと育ってきた樹木の野趣に富んだ佇まいはもちろんですが、庭園に植栽され丁寧に時間をかけて人の手が加えられた樹木にも別の美しさを感じます。つくづく自然に関わる仕事で良かったと思う今日この頃です。

今回のトピック

この先は・・・

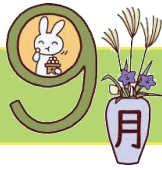
観察の森の「蝶の野原」というエリアの背面には杉林があります。これらの樹木を計画的に伐採し、時間をかけて広葉樹林に転換するという取り組みを現在行っており、すでに伐採を行った場所からは日照を好む植物や先駆植物などがあちこちから顔を出し始め、このエリアの植物相が多様化しているのを感じます。

そこにとっても奇妙な形をしたコナラの木を数本見つけました。木の真ん中あたりから、しなるように90度曲がっています。きっとこれまで杉林の中で日照を奪われ、隣の木々に寄りかかるように軟弱に育ってきたのでしょう。まわりの支えが突然無くなって、何とか自立しようと頑張っているようにも見えます。さらによく見ると、曲がったところから伸びている側枝の多くが「自分がこの木の主幹になってやる」と言わんばかりに上へ上へと伸長しています。



将来、この木は一体どのような形になるのでしょうか？
興味深く見守っていきたいと思います。

【館長：近藤晋也】



9月のイベント&お知らせ

◆「秋の鳴く虫かんさつ会」 9月14日(土)18:00～19:30

- ・太白山に生息する鳴く虫の観察会です。
- 【定員】20名 【持ち物】歩きやすい服装で、雨具(カッパ)、懐中電灯など
- 【申込み】9月6日(金)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「森のアート」 9月21日(土)10:00～12:00

- ・森の自然をアートの表現で楽しみながら観察します。
- 【定員】15名(小学生以上) 【持ち物】飲み物・帽子・歩きやすい服装と靴で
- 【申込み】9月7日(土)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆ガイドウォーク「館長と森を歩こう」 9月29日(日)10:00～11:30

- ・自然観察の森を館長がご案内します。
- 【定員】なし 【持ち物】観察用具・歩きやすい服装と靴で 【申込み】不要

◆「きのこ観察会」 10月5日(土)10:00～11:30

- ・キノコの専門家と秋の森のキノコを観察します。
- 【定員】20名 【持ち物】歩きやすい服装で、雨具(カッパ)、飲み物など
- 【申込み】9月8日(日)午前9時から電話で受付〔先着順〕

毎週
日曜は

「ガイドウォーク」の日!

9月の開催日は1日、8日、15日、
22日、29日です。

開催時間:10:00～11:30
13:30～15:00

◎29日の午前は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘～ヨシの湿地
の観察路は工事が終了し、通行
可能になりました。

9月の休館日

2日(月)、9日(月)、17日(火)、
24日(火)、30日(月)



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田自由ヶ丘南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2019年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133